

令和元年度 有田町立有田小学校 学校評価計画

1 学校教育目標	2 本年度の重点目標
ふるさとを大切に、たくましい有田っ子の育成	①進んで学ぶ子ども(知) ②心豊かで礼儀正しい子ども(徳) ③健康で元気な子ども ④ふるさとを大切に子ども(郷土愛)

重点目標を具体的に評価するための項目や指標を盛り込む

3 目標・評価

①進んで学ぶ子ども(知)

領域	評価項目	評価の観点 (具体的評価項目)	具体的目標	具体的方策	担当分掌(部)
教育活動	●学力の向上	・基礎学力の定着 ・指導方法の改善	・CRTテスト(国語、算数)の全領域において全国平均を超える。	・朝読書や国語・算数のスキルタイムを確実に実施したり、全児童に音読集を持たせ、暗唱に取り組みせたりする。 ・国や県の学習状況調査を分析し、教師の指導力向上のための支援や本校の課題に応じた学力向上対策の計画立案、実行を継続的に行う。	学習部
	○読書の推進	・読書習慣の確立	・読書指導の量的質的充実を図り、図書の一入当たりの年間平均貸出数が85冊を超えるようにする。	・学年別に図書貸し出し数の目標を設定し、各学年の実態に合った必読書を紹介し、読書の量と質を高める。 ・音読集を、年6回金曜日の朝に行う。	学習部
	○教育の質の向上に向けたICT利活用教育の実施	・ICTを利活用した効果的な指導方法の追求	・校内でICT研修会を開き、活用方法の周知と技術向上を図る。	・タブレット導入・来年度からのプログラミング教育実施に向けて、ICT利活用の研修会を継続的に行う。	学習部
学校運営	○教職員の資質の向上	・授業研究の推進	・全職員が、G研・事前研修を実施し、より深まった指導案で授業公開(研究授業)ができるようにする。	・学び合いの場の充実を図る研究を深め、講師による指導助言を受けながら、より良い授業のあり方を研修する。 ・町内の小中学校の更なる連携を深め、合同研修会を行う。	学習部

②心豊かで礼儀正しい子ども(徳)

領域	評価項目	評価の観点 (具体的評価項目)	具体的目標	具体的方策	担当分掌(部)
教育活動	●健康・体づくり	・望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成	・朝食をとって登校する児童の割合を、95%以上にする。	・たより(給食・保健)やアンケートを通して、朝食をとることの意義の理解と啓発を行うとともに、おにぎり持参給食の日を年2回設ける。	保体部
学校運営	○危機管理体制の整備	・安全管理、安全指導の徹底	・「危機意識を持ち、児童の事故防止、安全確保について具体的に指導した」と回答する職員が85%以上にする。 ・児童の危機意識を高める。	・外部講師による服従及び危機管理研修会を実施する。 ・年3回の避難訓練、交通教室を実施する。 ・通学路の点検、防犯ふれあい隊との連携等により、交通事故や不審者による被害を防ぐ。	特活・生活部 安全衛生委員会

③健康で元気な子ども

領域	評価項目	評価の観点 (具体的評価項目)	具体的目標	具体的方策	担当分掌(部)
教育活動	●心の教育	・人権意識の高揚	・友達の良さや自分の良さを実感できる児童の割合を90%以上にする。	・道徳の授業の充実(ふれあい道徳などの公開授業)やふれあい活動(縦割り班活動)の中で、思いやりの心や感謝の気持ちを育てる。 ・一人一人の良さを認め、褒めて伸ばすことを心がけ、指導が必要なときは速やかに対応する。	人権・同和教育部 道徳推進教員
	●いじめの問題への対応	・いじめの早期発見・早期対応に向けた職員・保護者・地域の体制づくり	・情報のネットワークを広く保ち、いじめ事案等の早期発見に努める。 ・児童が心配や悩みをいつでも気軽に相談できる体制を整備する。	・毎週1回「子どもを知る会」を開き、気になる児童の情報交換共通理解を図る。 ・Q-Uテストや毎週の「元気カード」の結果をもとに、関係職員と協力・相談しながら、児童理解に努める。必要に応じて個人面談を行い、一人一人の児童と担任等との対話を積極的に行う。	教育相談部
	○特別支援教育の充実	・支援を必要とする児童への支援体制の充実	・校内支援委員会(ケース会議)により、支援体制の充実が図られたとする教職員が90%以上にする。	・特別支援教育に関わる研修会を年3回以上設定し、専門的知識を深め、適切な対応ができるようにする。 ・校内支援委員会を必要に応じて身軽に開催できるようにする。	特別支援コーディネーター 特別支援教育部
	○生活指導の充実	・生活管理と安全指導の推進	・あいさつ、廊下の安全な歩行、無言掃除などができた、という児童が90%以上にする。	・「有田っ子ブライド」(月目標)を職員間に共通理解を図り、指導を徹底する。 ・職員があいさつ運動(毎月1日・20日)を実施する。	特活・生活部

④ふるさとを大切に子ども(郷土愛)

領域	評価項目	評価の観点 (具体的評価項目)	具体的目標	具体的方策	担当分掌(部)
教育活動	●志を高める教育	・地域の教材(人・物・事)を活用した教育活動の推進 ・ふるさと有田に誇りを持ち、地域に感謝し、夢に向かって努力する気持ちを高める教育活動の推進	・地域の人材を活用した教育活動や地域学習を1学級1学期に1回以上実施する。	・世界に誇れる有田焼をはじめ、地域の人的・物的教育資源を活用した、体験活動を重視した学習を継続的に行う。	地域連携部
学校運営	○情報発信	・PTA、保護者、地域との相互理解と連携の推進	・学校、学級の生活や様子について子どもと話し合う保護者が90%以上にする。	・学校HPや「はなまる連絡帳」、学校だよりや学級だよりの充実を図る。	地域連携部

本年度の重点目標に含まれない共通評価項目(あれば記入)

領域	評価項目	評価の観点 (具体的評価項目)	具体的目標	具体的方策	担当分掌(部)
学校運営	●業務改善・教職員の働き方改革の推進	・校務等の効率化の促進	・各分掌間の連携及び情報共有を図り、効率的な業務への取組を推進するとともに、教職員の時間外勤務について1か月当たり(一人当たり)45時間とする。	・サーバー内の情報を共有化し、業務の均一化を図る。 ・定時退勤日(水曜17:30)を明示するとともに、他校の取組等を提示し、意識の向上を図る。	安全衛生委員会

●は共通評価項目のうち必須項目、○は独自評価項目